**西方寺**

西方寺は竹原周辺から見ることができる地元のランドマークです。町並み保存地区を見下ろす丘の上に建てられました。もともとは1560年に近くの町で設立されました。1602年に火事で破壊された後、現在の場所に移されました。

寺院は展望台と城のような印象的な石垣で有名です。

普明閣には、慈悲の菩薩である観音（観音菩薩）の顕現である十一面観音が祀られています。境内には江戸時代（1603〜1867）の竹原の俳句の記念碑である麻刈塚があります。

大林宣彦監督の不朽の名作、1983年の映画「時をかける少女」により、このお寺は有名になりました。西方寺は町の景観の重要な一部で、竹原の多くの場所から見ることができます。竹原市重要文化財に指定されています。